

## 特定個人情報保護評価書（全項目評価書）素案用語集

【あ行】

### ◆ アクセスログ・操作ログ

コンピュータを操作して、データを参照したり更新したりする際に、誰がどのデータを操作したかについての情報の記録のこと。

### ◆ アプリケーション（ソフト）

特定の作業を行うために使用されるソフトウェアのこと。

### ◆ インポートデータ、エクスポートデータ

データベースから見て、他から入力されるデータをインポートデータ、他へ出力するデータをエクスポートデータと呼ぶ。

### ◆ ウイルスパターンファイル

コンピュータウイルスは、日々、新しいウイルスが作られており、新しいウイルスを駆除するためには、それを駆除するための新しい駆除ファイルが必要となる。この駆除ファイルのことをウイルスパターンファイルと呼ぶ。

### ◆ オペレーティングシステム（OS）

コンピュータのシステム全体を管理し、種々のアプリケーションソフトに共通する利用環境を提供する基本的なプログラム。

## 【か行】

### ◆個人番号

住民票を有するすべての人に対して付番される12桁の番号。

### ◆個人番号カード管理システム

個人番号カードの発行に必要なデータの作成や個人番号カードの一時的な利用停止などを行うためのシステム。地方公共団体情報システム機構において、構築を進めている。

### ◆コミュニケーションサーバ（CS）

市町村に設置されている住民基本台帳ネットワークシステムのコンピュータをコミュニケーションサーバ(CS)という。

## 【さ行】

### ◆システム用ファイル

電子情報処理組織で保有される特定個人情報ファイル。

### ◆住民票コード

住民基本台帳ネットワークにおいて全国共通の本人確認を行うにあたって必要不可欠な12桁の番号。個人番号は、この住民票コードを変換して得られる番号である。

### ◆住基ネット（住民基本台帳ネットワーク）

住民の利便性の向上と国及び地方公共団体の行政の合理化に資するため、居住関係を公証する住民基本台帳をネットワーク化し、全国共通の本人確認を行うことができるシステム。

#### ◆住基ネットGWシステム

GWは、ゲートウェイと読み、異なるシステムを繋ぎ、情報連携できるようにするための仕組みをいう。既存住民基本台帳システムと住民基本台帳ネットワークシステムを庁内専用回線で繋いでいる。

#### ◆情報提供ネットワークシステム（インターフェイスシステム）

番号法により、国や他機関との連携が可能な情報をやり取りする際に、必要となるシステム。総務大臣が設置・管理する。

#### ◆セキュリティパッチ

コンピュータで使用しているソフトウェアの、セキュリティ上の脆弱な部分を修正するプログラム。

#### ◆セグメント

ケーブルなどを使って、同じ建物の中にあるコンピュータや通信機器、プリンタなどを接続し、データをやり取りするネットワークの最小単位。

【た行】

#### ◆耐タンパー装置

通信時の相互認証およびデータの暗号化に必要な情報を保管管理する市町村CSに内蔵されている機器。

#### ◆タイムスタンプ

コンピュータで何らかの処理を実行する際、いつ実行または更新されたかについての時間の記録

のこと。

◆地方公共団体情報システム機構（J-LIS）

平成26年4月1日に設立された地方公共団体が共同して運営する組織のこと。マイナンバー、住民基本台帳ネットワークなどに関する事務や地方公共団体の情報システムに関する事務を実施する。

◆中間サーバー

情報提供ネットワークシステムと番号制度に関連する業務システムとの情報の授受の仲介をする役割を担うコンピュータ。

◆中間サーバー・プラットフォーム

地方公共団体情報システム機構により整備・運用される中間サーバーの拠点のこと。

◆テーブル

コンピュータ内のデータはデータベースに記録される。その際、データを複数の種類に分けて、表のような形式で保存するが、この表1つ1つをテーブルと呼ぶ。

◆電子記録媒体

磁気ディスクや光学ディスク、フラッシュメモリなど、データを記録する装置や部品のこと。

◆特定個人情報（ファイル）

個人番号をその内容に含む個人情報（ファイル）。

◆特定個人情報の移転

特定個人情報を、内部（機関内、自治体内）の他部署へ渡すこと。

◆特定個人情報の提供

特定個人情報を、外部（他機関、他自治体）へ渡すこと。

【な行】

-

【は行】

◆ハブ

複数台のパソコンを接続しネットワークをつくるための機器。ネットワーク上でケーブルを分岐し中継する機能があり、データの共有やプリンタの共有が可能となる。

◆バッチ

一定期間(もしくは一定量)データを集め、まとめて一括処理を行う処理方式。または、複数の手順からなる処理において、あらかじめ一連の手順を登録しておき、自動的に連続処理を行う処理方式。

◆ファイアウォール

ネットワークを内部と外部に分ける部分に設置し、外部からの通信を制御することで内部のネットワークの安全性を高める装置。

◆本人確認情報

住民基本台帳ネットワークで取り扱う個人番号、4情報（氏名・住所・性別・生年月日）、

住民票コード、付随情報（異動事由・異動年月日）のこと。

【ま行】

◆ミドルウェア

ソフトウェアの分類のうち、オペレーティングシステム（OS）とアプリケーションソフトの中間的な処理・動作を行うソフトウェアのこと。

【や行】

-

【ら行】

◆ログイン

コンピュータに自分の身元を示す情報を入力し、接続や利用開始を申請すること。コンピュータの保管している身元情報に一致すると、あらかじめ決められた権限に基づいてそのコンピュータを利用することができる。一般的にはユーザ名(ID)とパスワードを入力して行う。逆に、接続を切ったり、利用を終了する操作を「ログオフ」(logoff)あるいは「ログアウト」(logout)という。

【A～Z】

◆MACアドレス

ネットワークを構成するすべての機器には、原則として一意の番号が振ってあり、これをMACアドレスと呼ぶ。ネットワークで通信する際、あらかじめ特定のMACアドレスのみを指定して通信を許可する仕組みを、MACアドレスによるフィルタリングという。

#### ◆ N I S C政府機関統一基準群

内閣官房情報セキュリティセンター（N I S C）による政府機関における情報セキュリティ対策のための統一的な基準群のこと。

#### ◆ V P N

VPN はバーチャルプライベートネットワークと読む。公衆回線を使用してネットワークを利用する際、様々な利用者の情報が流れるため、VPN の技術により仮想的に専用回線を作り、これを利用することで安全性を高めている。